



シダやツタ類、コケ類を従え、原始の森の面影を彷彿とさせる
圧倒的な存在感を放つカツラの巨樹。
とてつもなく長い時を生きてきた力強さにあふれている。

ニロ山塊の入口に座する整った三角の山、
三方倉山(さんぽうくらやま)。

その山懐を2キロ余に渡って伸びる自然歩
道。清流名取川を眼下に、道沿いの巨木達
は、鮮やかに季節の移ろいを見せながら、静
かに静かに太古からの営みを続けてきた。
道ばたの草花も、奥秋保の厳しい風雪に耐
えながら可憐に命をつないでいる。

こんな草木を愛でつつ、心地よい汗をかい
てみよう。そこに派手さはない。でもとりわけ
濃い空気が迎えてくれる。

秋保では丁度いいことを「あんべいい」と
言う。自然とひとつになって歩くのに「あんべ
いい」、それがニロ自然歩道なのだ。

秋保 いってみっぺ

五感を揺さぶる巨樹の森 ニロ自然歩道を歩く

いってみっぺ
秋保

五感を揺さぶる巨樹の森
ニロ自然歩道を歩く

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)
秋保市民センター (022-399-2316)

三方倉山の麓、二口峡谷の森歩き
濃い空気をゆっくり吸い込む
森の風と光とかおりを身体全体で感じる
巨樹の森で五感を潤す歩き旅

三方倉山の麓、名取川との崖沿いの豊かな森、巨大な岩や切り立った崖など、四季を通し
て千変万化の峡谷美を堪能できる二口峡谷の入口。
日本海型のブナ林を中心に、常緑のエゾユズリハやヒメアオキなどの低木とともに、太古の森
を想わせるシダ植物とコケ類の群落の中、長い時を刻み奇怪な様相へと変貌を遂げた巨樹
たちが目を引く。
木の幹や倒木、沢や岩はもちろん、階段や歩道までも苦むす中に黙座するその姿は神々
しいほどに迫力に満ちている。
濃厚な空気を味わいながらの静かな山歩き、そこは「見る、聞く、嗅ぐ、触る、味わう」の五
感が研ぎ澄まされるパワースポット、新鮮なエネルギーをもたらしてくれる。





三方倉 幻の滝

柱状節理の岩肌を滑るように流れる滝。春と秋では違う形を見せてくれる。



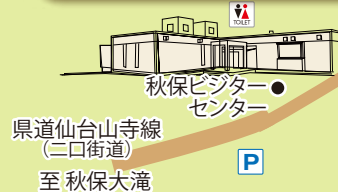
名取川右岸から階段を登り始める。



中小屋橋 名取川唯一の沈下橋を渡る。



中小屋駐車場&自然歩道出入口



秋保ビジターセンター
県道仙台山寺線(二口街道)
至 秋保大滝

蔵王国定公園・県立二口峡谷自然公園

二口自然歩道を歩く



早春限定のカタクリ花広場

広葉樹の樹林帯に一齐に咲き誇る景観は、二口峡谷の春を告げる名所。



馬頭観音と炭窯跡群

かつて秋保の暮らしをささえた「白炭」の窯跡と馬の慰霊碑。古の山人の労苦を偲ばせる。



カツラの巨樹とシダ植物の群落

このルートで群を抜くカツラの巨樹。恐竜がいた時代を思わせる圧巻のシダ植物が辺りを覆う。



登山道分岐

シロヤシオコースの出入口です。



磐司眺め(休憩ポイント)

峡谷越しに聳える磐司の迫力を感じる。



コナラの巨樹(左)とトチノキの巨樹(右)

天に向けて聳える姿は存在感抜群。思わず見上げる!



バンドリ沢

秋保ではムササビのことをバンドリといいます。



姉滝橋とさざれ石塊の大岩

いつも山霧と滝しぶきを浴びてツルツルだ。そして、袂の溶岩塊の大岩 苔生して存在感を放つ。



姉妹滝(右が姉滝、左が妹滝)

仲良く清冽なしぶきをあげる秋保指折りのパワースポット。



近年「猪鼻岩」と称している奇岩

二口林道から名取川を覗くと、峡谷を覗いているようだ。



二口自然歩道 出入口(二口林道)

自然歩道の終点、あとは二口林道を東へ下る。



秋保全体図

山形市 馬場 長袋 境野 茂庭 湯元 川崎町 拡大 青葉区

《各ポイント間の所要時間の目安》

※トータルの時間の目安は「休憩などを含めて2時間半から3時間」 ※季節によってはヤマヒルが出る場合がありますので、対策が必要です。

① 中小屋駐車場(自然歩道出入口) 8分 → ② 三方倉 幻の滝 8分 → ③ カタクリ花広場 8分 → ⑤ カツラの巨樹とシダの群落 15分 → ⑥ 登山道分岐 20分 → ⑦ 磐司眺め 10分 → ⑧ トチノキの巨樹 20分 → ⑨ 姉滝橋 5分 → ⑩ 二口林道(自然歩道出入口) 30分 → ⑪ 中小屋駐車場(自然歩道出入口)